

「“ふじのくに” 士民協働施策レビュー」 施策の改善提案の概要

9月7日(土)、10月27日(日)に開催した「“ふじのくに” 士民協働施策レビュー」において、県民評価者の皆様からいただいた施策の改善提案の概要は以下のとおり。

いただいた改善提案は、具体的な対応を検討した上で、施策等への反映を図る。

施策への反映状況は、令和2年3月に公表する予定。

1 施策改善提案概要

施策	主な改善提案
地域を支える魅力ある商業とサービス産業の振興	<ul style="list-style-type: none">デザイン産業の振興を図るため、県は人材育成や企業等へ支援していることを県民・企業に周知すべき静岡県のデザイン産業を担う人材育成を強化すべきデザインを活用した商品等の高付加価値化や競争力強化を支援すべき
国際競争力の高い観光地域づくり 観光客の来訪の促進	<ul style="list-style-type: none">DMOの活動や役割の周知を図るとともに、DMOと多様な主体との連携強化等に向けた取組が必要ターゲットやニーズを分析し、様々な手段により魅力の情報発信が必要訪日外国人を受け入れる多文化共生意識の醸成が必要
魅力ある高等教育の振興	<ul style="list-style-type: none">中学校への出張講座等、早期に高等教育に触れる機会の創出や県内大学の魅力の発信が必要大学と地域企業のマッチングや連携を支援し、研究成果の民間活用と地域還元を促進すべき
家庭・職場・地域の子育て支援の充実 保育サービス・幼児教育の充実	<ul style="list-style-type: none">企業による子育てを応援する気運を醸成すべき家事、育児に対する男性の意識改革や、家庭を持つ喜びや楽しさを周知すべき子育ての精神的、経済的な不安の軽減を図る仕組み等の構築が必要
世界水準の農芸品の生産力強化	<ul style="list-style-type: none">様々な手法による担い手の確保、育成に向けた取組が重要農芸品の付加価値を高めるため、市町等と連携を図りブランド化を検討するとともに、様々な手段による情報発信が必要最先端技術の活用によって生産性の更なる向上を図るべき
生涯を通じた健康づくり	<ul style="list-style-type: none">若い世代を含めた無関心層に対して様々な手段により情報発信をすべき疾病体験者と無関心層との交流の場や機会を創出するなど、健康づくりに取り組むきっかけづくりが必要健康の地域格差を分析し、市町と連携し格差の解消に取り組むべき

※各施策の改善提案意見の詳細はホームページを参照

(<https://www.pref.shizuoka.jp/kikaku/ki-030/review.html>)



2 県民評価者年代別内訳

～20代	30代	40代	50代	60代	70代～	計
67人 (35.3%)	4人 (2.1%)	20人 (10.5%)	24人 (12.6%)	42人 (22.1%)	33人 (17.4%)	190人